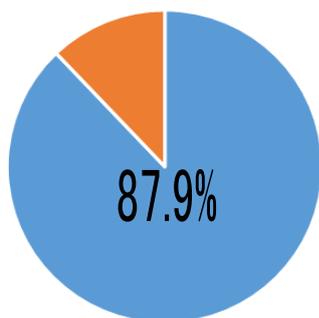


資料 関電の原発 使用済核燃料の原発プールでの貯蔵状況(2025年3月末)

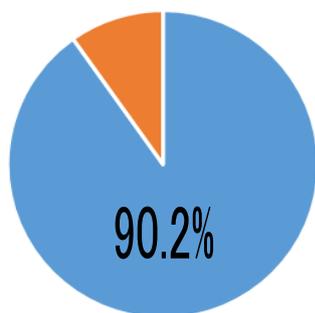
六ヶ所再処理工場への搬出(2028年度)、フランスへの搬出(2027年度)ができず、乾式貯蔵施設の建設(高浜原発2028年度運用開始予定)を止めれば、関電の原発は3~4年で運転できなくなる。高浜原発は2028度に運転停止へ。

高浜原発1~4号合計



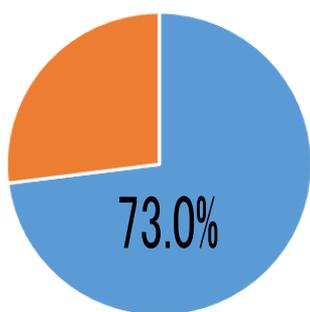
貯蔵量	1,520tU (3,303体)
管理容量	1,730tU (3,758体)
空き容量	210tU (455体)
年間発生量	72tU (156体)
満杯になるまで	2.9年(2028年度頃)

大飯原発3・4号合計



貯蔵量	1,610tU (3,491体)
管理容量	1,780tU (3,872体)
空き容量	180tU (381体)
年間発生量	44tU (96体)
満杯になるまで	4.1年(2029年度頃)

美浜原発3号



貯蔵量	220tU (476体)
管理容量	300tU (652体)
空き容量	80tU (176体)
年間発生量	18tU (39体)
満杯になるまで	4.4年(2029年度頃)

注：貯蔵容量などは関電ホームページより

詳しい数値は美浜の会ニュース192号2頁表 <https://x.gd/lhzkg>

燃料トン数(tU)は、使用済核燃料中の金属ウランの重量。燃料体数×0.46で計算
年間発生量は、1サイクルごとに、1/3炉心分を新燃料に取替えるものとする。

1サイクル運転期間13か月、定期検査3か月の計16か月として計算